

報告症例（音声言語分野）記録用紙

会員番号 _____ 申請者氏名 _____

報告症例(区分を下記の分野から選択する)

区分

- 1) 構音評価
- 2) 鼻咽腔閉鎖機能の評価（言語聴覚士の評価、他職種との連携評価、総合的判定などを含む）
- 3) 鼻咽腔閉鎖機能良好例の構音訓練
- 4) 鼻咽腔閉鎖機能不全例の構音訓練（補綴的発音補助装置や二次手術などを含む）
- 5) 他職種および他施設言語聴覚士との連携での言語療法
- 6) 言語管理（言語発達、聴力評価、音声などを含む）
- 7) 家族支援（発達面、聴力、心理社会的問題などを有する例を含む）

症例 1 区分（ ）

症例 2 区分（ ）

症例 3 区分（ ）

症例 4 区分（ ）

症例 5 区分（ ）

診断名は医学的診断名と裂型を記入してください。

言語障害名は 1) 鼻咽腔閉鎖機能、2) 構音障害、3) 1) 2) 以外の言語障害から選択する。

必要があれば、図表を添付して下さい。

症例 1 区分番号（ ）

病院名 ○○病院

年齢

診断名

言語障害名

言語療法の内容

報告症例（音声言語）記録用紙：記入例

会員番号 9999 申請者氏名 言語よし子

報告症例(区分を下記の分野から選択する)

区分

- 1) 構音評価
- 2) 鼻咽腔閉鎖機能の評価（言語聴覚士の評価、他職種との連携評価、総合的判定などを含む）
- 3) 鼻咽腔閉鎖機能良好例の構音訓練
- 4) 鼻咽腔閉鎖機能不全例の構音訓練（補綴的発音補助装置や二次手術などを含む）
- 5) 他職種および他施設言語聴覚士との連携での言語療法
- 6) 言語管理（言語発達、聴力評価、音声などを含む）
- 7) 家族支援（発達面、聴力、心理社会的問題などを有する例を含む）

症例 1 区分（ 1 ）

症例 2 区分（ ）

症例 3 区分（ ）

症例 4 区分（ ）

症例 5 区分（ ）

診断名は医学的診断名と裂型を記入してください。

言語障害名は 1) 鼻咽腔閉鎖機能、2) 構音障害、3) 1) 2) 以外の言語障害から選択する。

必要があれば、図表を添付して下さい。

症例 1 区分番号（ 1 ）

病院名 ○○病院

年齢 6 歳

診断名 左側口唇口蓋裂

言語障害名 構音障害

言語療法の内容

[手術歴]

〇〇病院形成外科にて1歳3か月時に口蓋形成術を施行され、その後6か月に1度、〇〇病院の言語聴覚士による言語管理を受けた。

[合併症]

滲出性中耳炎の罹患歴あり。近耳鼻咽喉科医にて投薬による治療を受けたが、聴力低下はなかった。

[言語評価]

5歳児の言語評価は以下の通りである。

鼻咽腔閉鎖機能：ソフトブローイング時の呼気鼻漏出(-)、開鼻声(-)、呼気鼻漏出による子音の歪み(-)で、鼻咽腔閉鎖機能は良好と判定された。

構音：構音検査(単語・音節・文章)を実施したところ、[t, d, n, s, ts, dz]に口蓋化構音が認められた。

知的発達および言語発達：受診時の様子と保護者への聞き取りを総合し大きな問題はないと判断した。

[言語治療]

構音訓練開始年齢の5歳(幼稚園年中)に達し、課題態勢も整っていたので、症例の地元の〇〇こども発達支援センターの言語聴覚士に構音訓練を依頼した。〇〇病院言語治療室でも6か月に1度の定期検診を継続している。

構音検査シート添付